



改修前

左上 普通教室  
右上 廊下  
左下 昇降口

## 2-6

地元産材を活用した内装木質化による教育環境の向上

埼玉県

### ときがわ町立都幾川中学校

#### 1：背景

老朽化した公共施設について建て替えを行うと、費用が掛かり財政負担も大きくなるため、ときがわ町では、耐震補強を施し、内装を木質化しながら改修することで、経費や工期を抑えながら快適な教育環境を整備している。（同規模の校舎新築に係る費用と比較し、20～30%で対応することが可能。）

この校舎は昭和46年に建てられ、耐震性が低く、内部の老朽化も進行していたため、平成18年に耐震補強工事、平成21年に内装木質化工事を実施した。



配膳室周りを改修してつくられた木質化ラウンジ

#### 2：取組内容

耐震補強や内装の木質化のほか、外装を塗り替えて、屋上に防水加工を施すことにより新築と同様の環境を確保した。

また、未使用となっていた配膳室周りを生徒のラウンジに改修した。同町の面積の約7割が山林である。内装の木質化に当たっては、主要な木材は可能な限り、ときがわ産を利用し、地元にも活力を与えた。

#### 3：特に留意した点

節のある材の活用や目の届かない天井等における合板の活用、間伐材の利用等によりコストを抑えた。

また、夏休みの短期間で工事を実施するため、床のモルタル仕上面にラバー付きの床材を使用し、従来の下地合板張りを省くことにより工期の短縮を図った。

#### 4：成果と課題

木材の調湿効果により、風邪をひく子どもの数が減少するとともに結露しにくくなった。また、適度な弾力性を有するため転倒しても大事に至らない安全性を確保できた。

改修の際に設けた木質化ラウンジには、研修や進学に関する情報等を掲示してあり、休憩時には生徒が語り合う、憩いの場として活用されている。